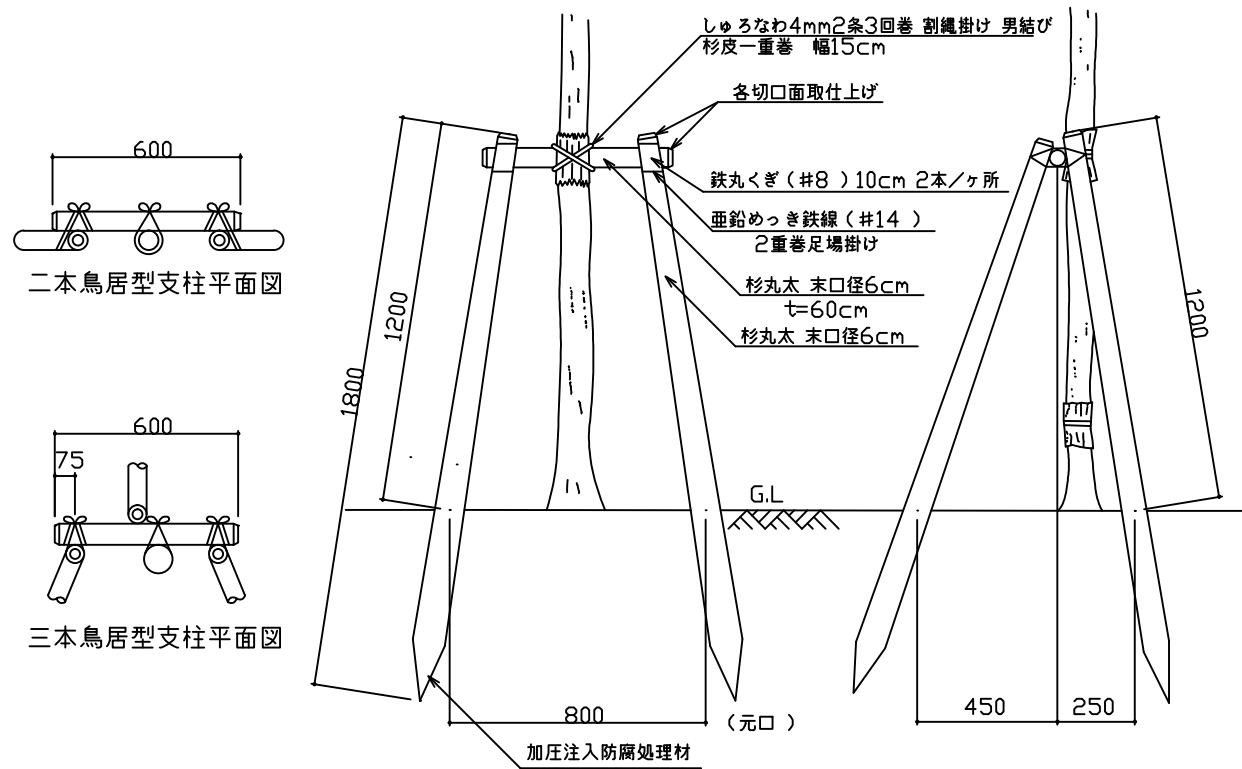


二、三本鳥居型支柱（ A ）標準図

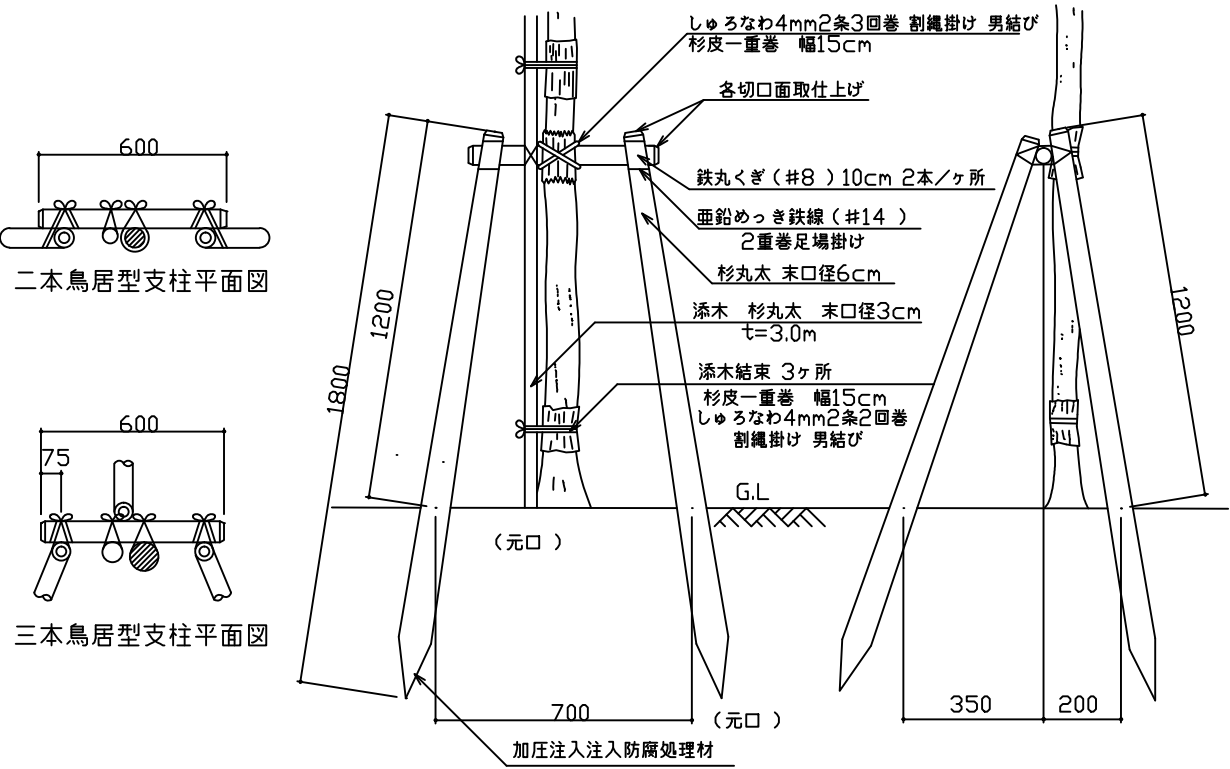


二、三本鳥居型支柱（ A ）材料表 100本 当り				
名 称	形 状 寸 法	単 位	二本鳥居型	三本鳥居型
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.8m	本	200.00	300.00
杉丸太	末口径6.0cm 長さ0.6m	本	100.00	100.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しゅろなわ、杉皮等	式	1.00	1.00

- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 横取付け丸太は、切込みを施すこと。
4. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
5. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	二本鳥居型支柱（ A ） 三本鳥居型支柱（ A ）
大 阪 市 建 設 局	

二、三本鳥居型支柱（ B ）添柱付 標準図

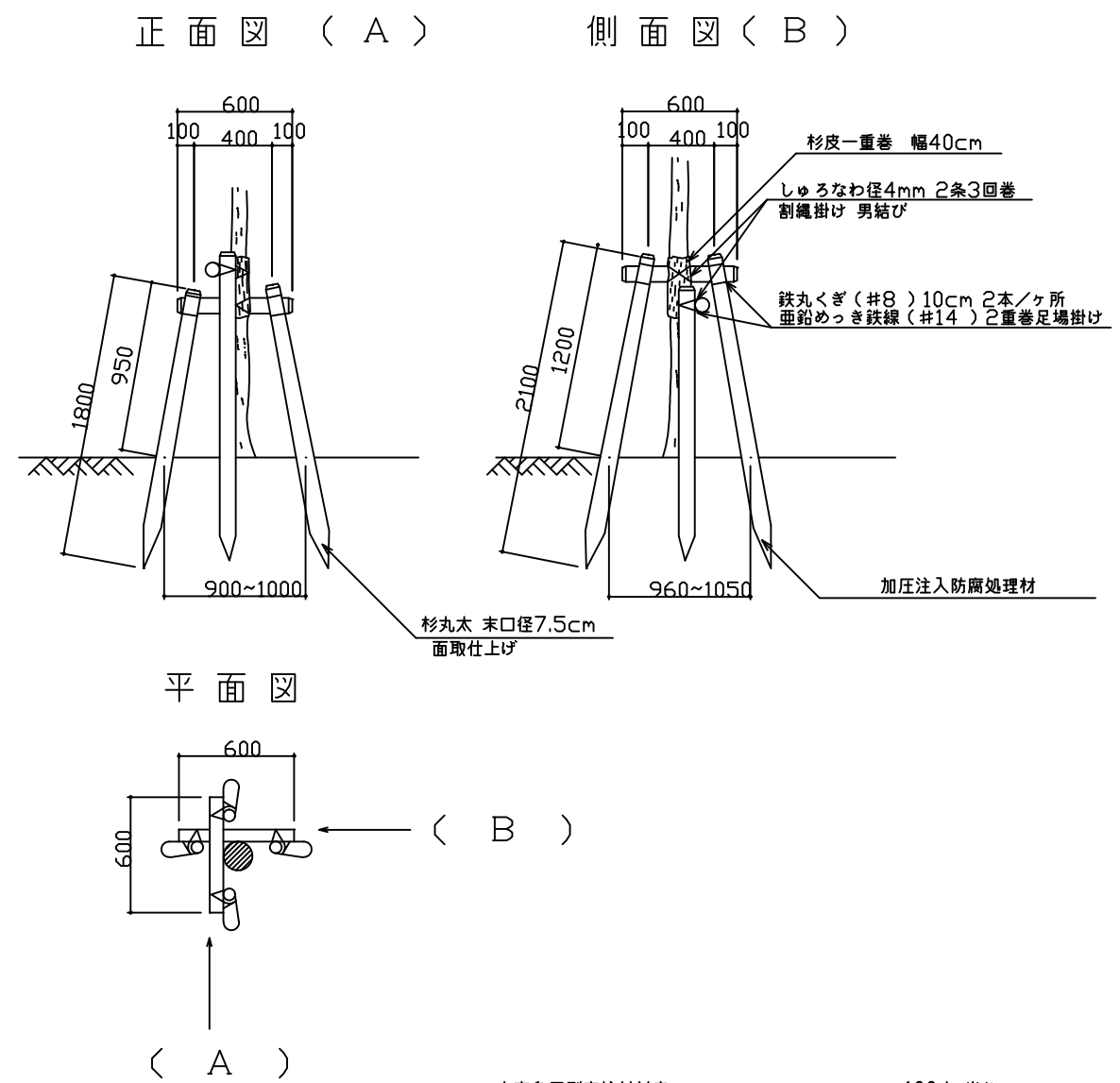


二、三本鳥居型支柱（ B ）材料表 100本 当り				
名 称	形 状 寸 法	単 位	二本鳥居型	三本鳥居型
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.8m	本	200.00	300.00
杉丸太	末口径6.0cm 長さ0.6m	本	100.00	100.00
杉丸太 （添木）	末口径3.0cm 長さ3.0m	本	100.00	100.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しゅろなわ、杉皮等	式	1.00	1.00

- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 横取付け丸太は、切込みを施すこと。
4. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
5. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	二本鳥居型支柱（ B ） 三本鳥居型支柱（ B ）
大 阪 市 建 設 局	

十字鳥居型支柱標準図

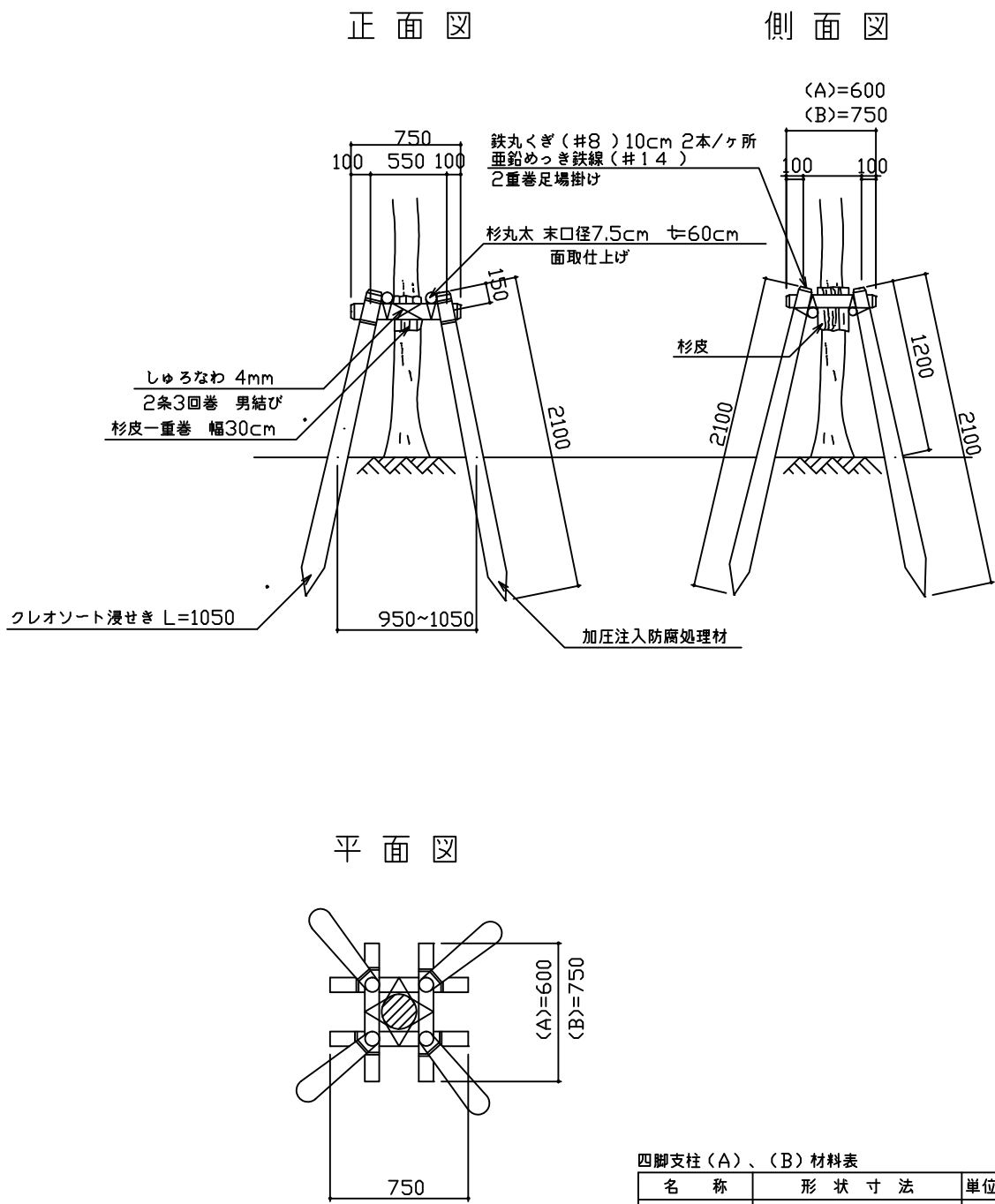


十字鳥居型支柱材料表		100本 当り	
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
杉丸太	末口径7.5cm 長さ2.1m	本	200.00
杉丸太	末口径7.5cm 長さ1.8m	本	200.00
杉丸太	末口径7.5cm 長さ0.6m	本	200.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しゅろなわ、杉皮等	式	1.00

- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 横取付け丸太は、切込みを施すこと。
4. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
5. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	十字鳥居型支柱
大 阪 市 建 設 局	

四脚支柱（ A ） 、 （ B ） 標準図

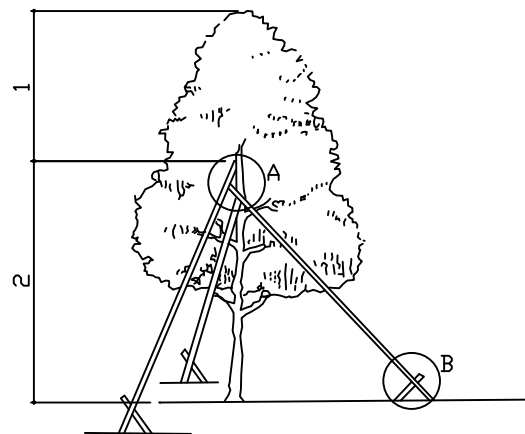


四脚支柱（A）、（B）材料表				100本 当り
名 称	形 状 寸 法	単位	（A）	（B）
杉丸太	末口径7.5cm 長さ2.1m	本	400.00	400.00
杉丸太	末口径7.5cm 長さ0.75m	本	200.00	400.00
杉丸太	末口径7.5cm 長さ0.6m	本	200.00	——
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しゅろなわ、杉皮等	式	1.00	1.00

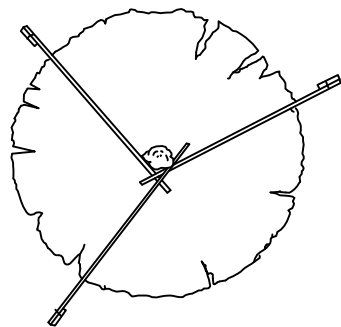
- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 横取付け丸太は、切込みを施すこと。
4. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
5. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	四 脚 支 柱 { A / B }
大 阪 市 建 設 局	

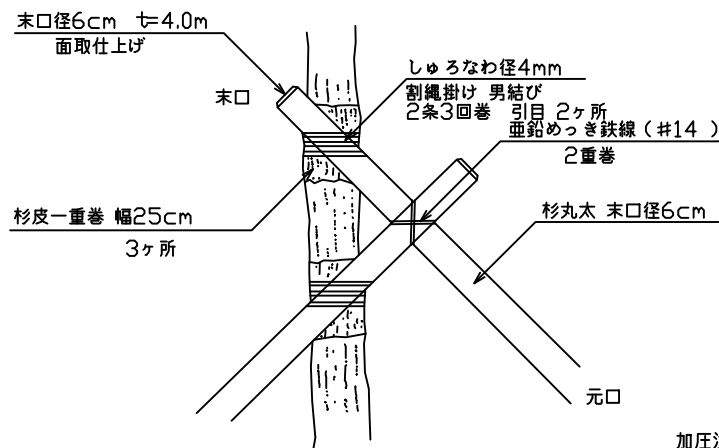
三本支柱（ A ）、（ B ）標準図



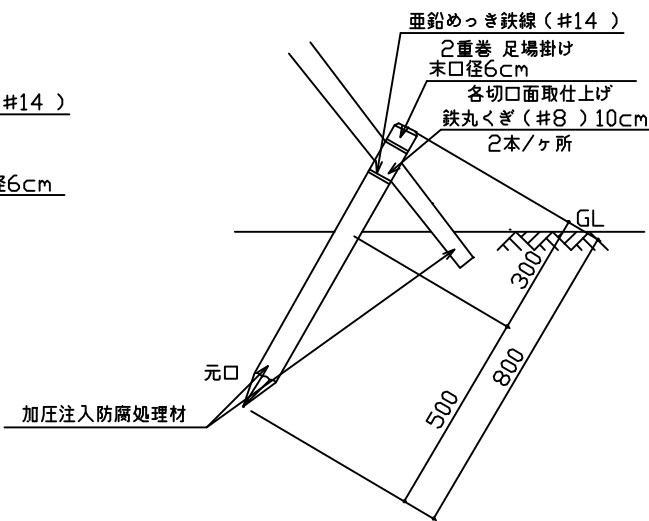
三本支柱平面図



A 部詳細図



B 部（やらず）詳細図

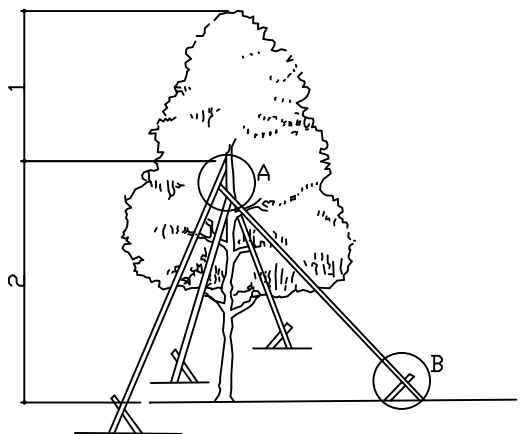


三本支柱（ A ）、（ B ）材料表		100本 当り		
名 称	形 状 寸 法	単 位	（ A ）	（ B ）
杉丸太	末口径6.0cm 長さ4.0m	本	300.00	—
杉丸太	中口径6.0cm 長さ6.3m	本	—	300.00
杉丸太 （添木）	末口径6.0cm 長さ0.8m	本	300.00	300.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しろなわ、杉皮等	式	1.00	1.00

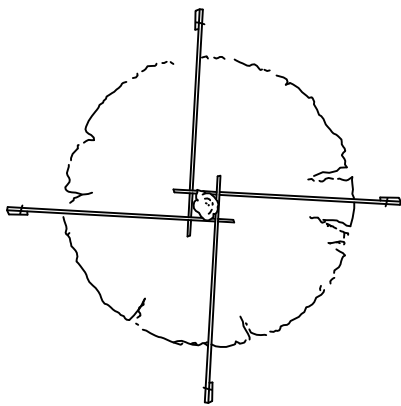
- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
4. しろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	三 本 支 柱 { A / B }
大 阪 市 建 設 局	

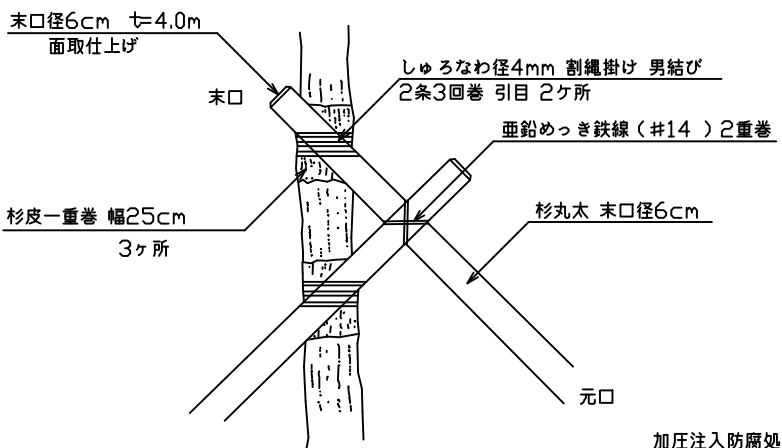
四本支柱標準図



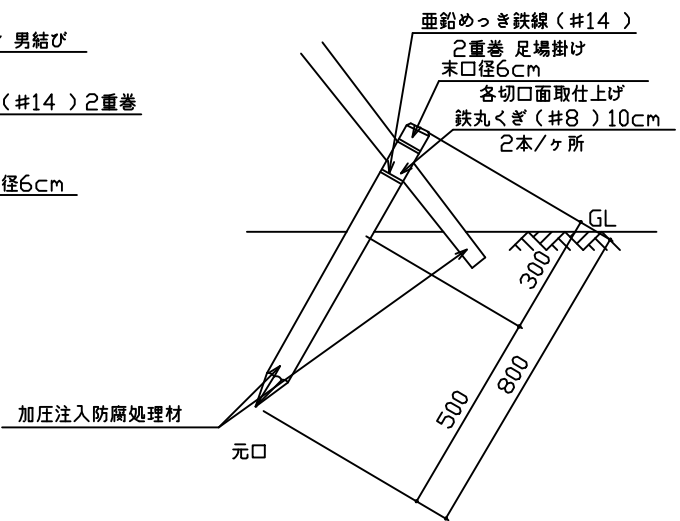
四本支柱平面図



A 部詳細図



B 部（やらず）詳細図

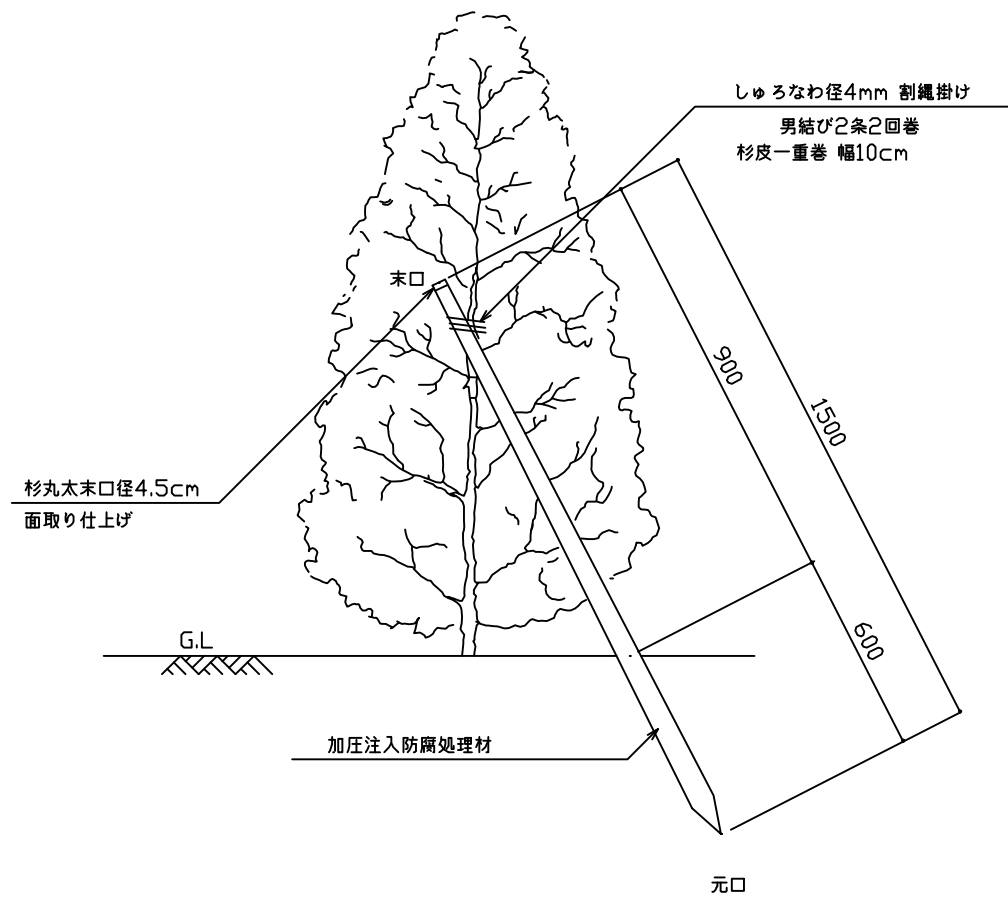


四本支柱材料表		100本 当り		
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量	
杉丸太	末口径6.0cm 長さ4.0m	本	400.00	
杉丸太	末口径6.0cm 長さ0.8m	本	400.00	
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しろなわ、杉皮等	式	1.00	

- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 横取付け丸太は、切込みを施すこと。
4. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
5. しろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	四 本 支 柱
大 阪 市 建 設 局	

一本支柱（ A ）標準図
1.5M用

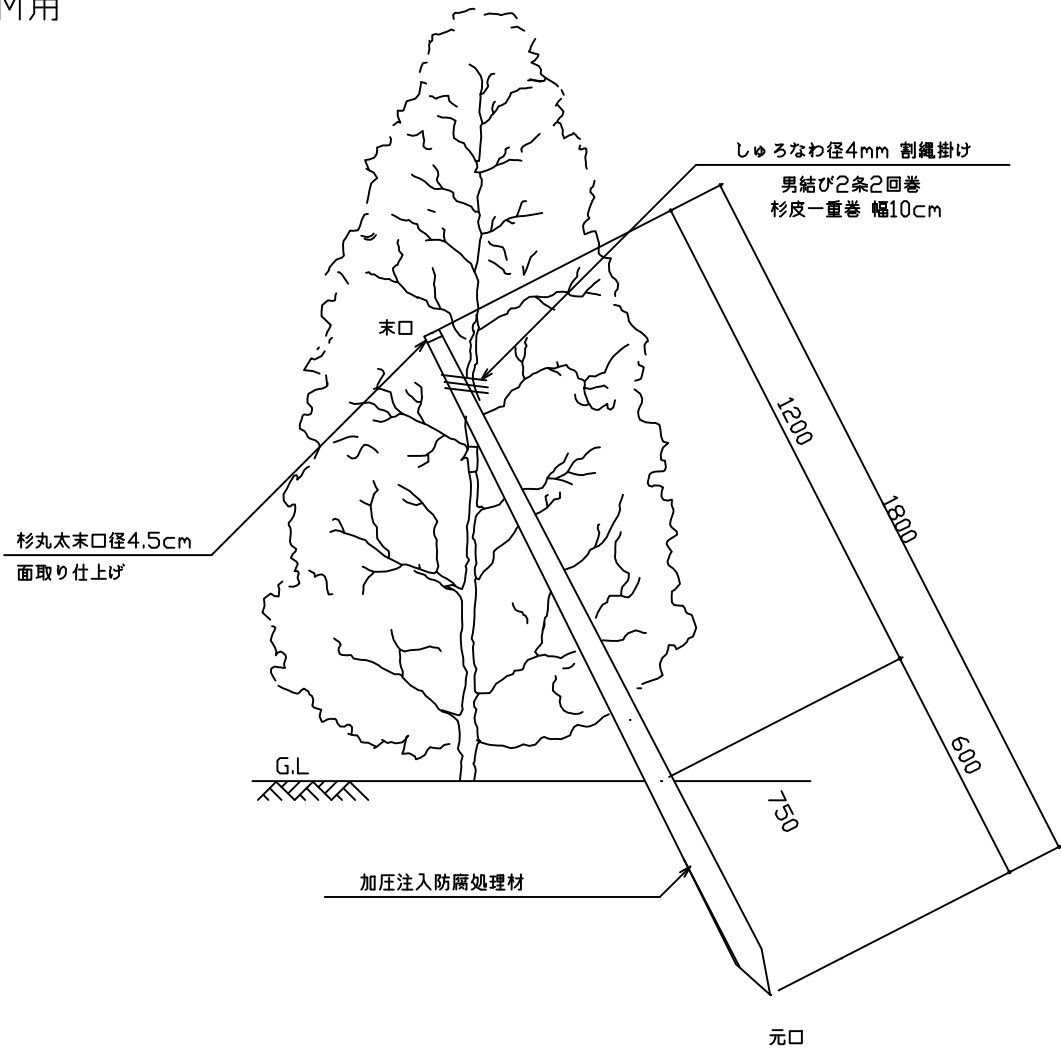


一本支柱（ A ）材料表		100本 当り	
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
杉 丸 太	末口 径4.5cm	本	100.00
	長さ 1.5m		
結束材料	しゅろなわ、杉皮等	式	1.00

注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
4. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	一本支柱（ A ） （ L = 1.5 m ）
大 阪 市 建 設 局	

一本支柱（ B ）標準図
1.8M用

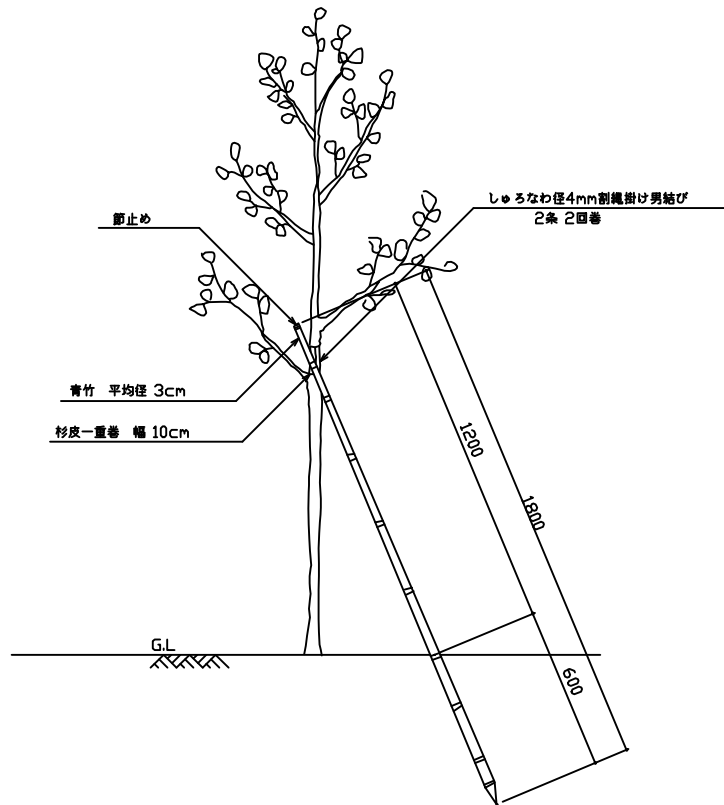


一本支柱（ B ）材料表		100本 当り	
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
杉 丸 太	末口 径4.5cm	本	100.00
	長さ 1.8m		
結束材料	しゅろなわ、杉皮等	式	1.00

注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
4. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	一本支柱（ B ） （ L = 1.8 m ）
大 阪 市 建 設 局	

一本竹支柱標準図



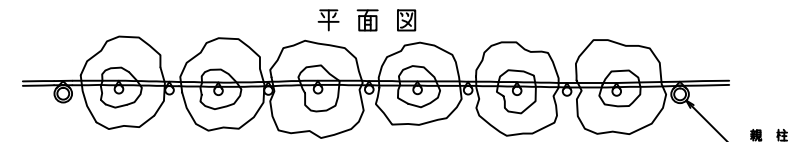
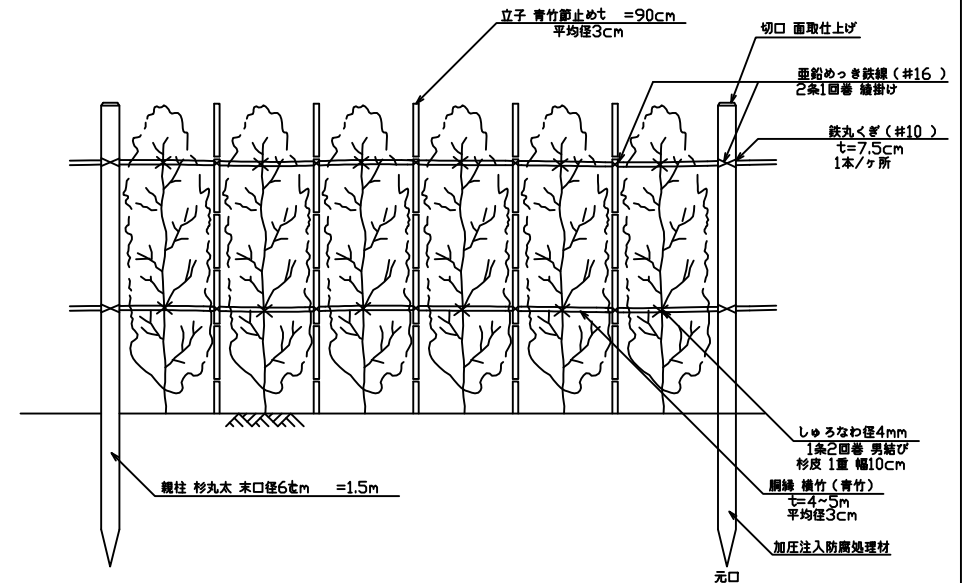
一本竹支柱材料表 100本 当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
青 竹	平均径3.0cm 長さ1.8m	本	100.00
結束材料	しゅうなわ、杉皮等	式	1.00

注 1. 竹は両端節止めとする。

種 別	樹木養生工
図 面 名	一 本 竹 支 柱
大 阪 市 建 設 局	

生垣（ A ）標準図



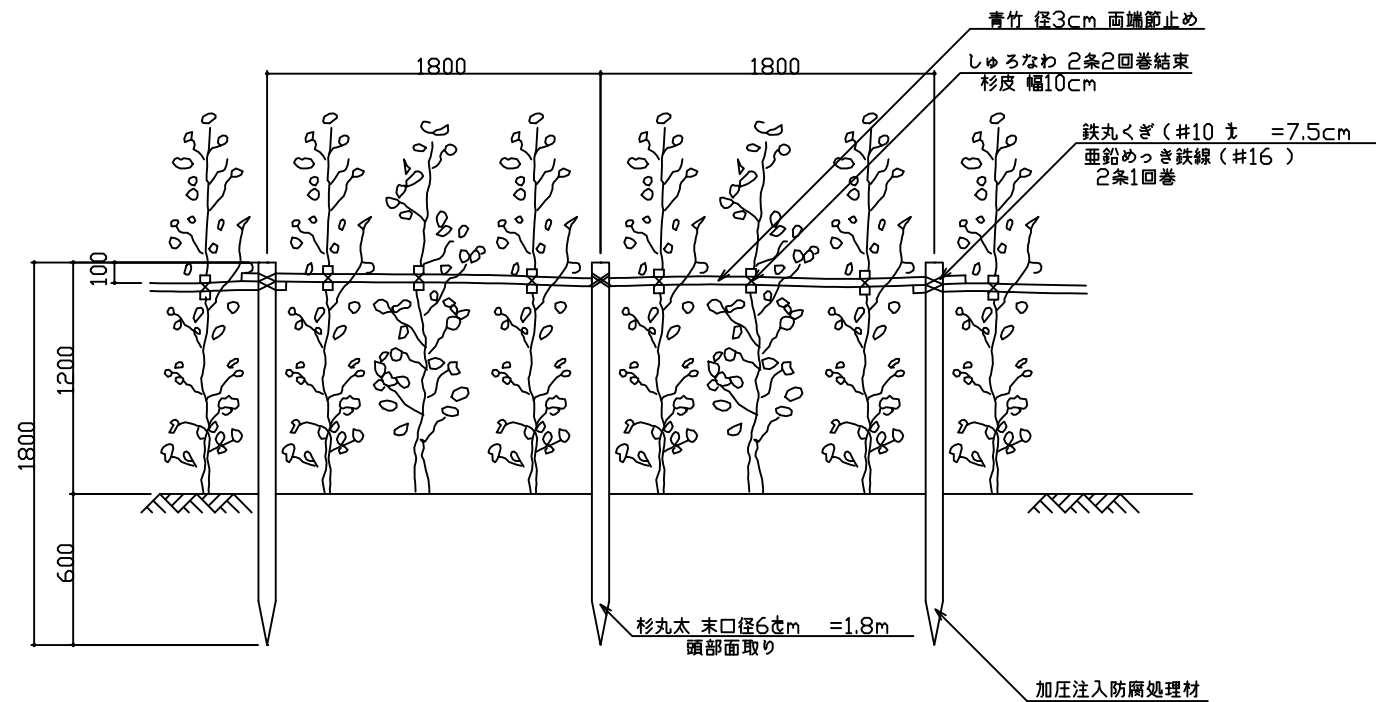
生垣（ A ）材料表 18m 当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.5m	本	10.00
青 竹	平均径3.0cm 長さ5.0m	m	36.00
青 竹	平均3.0cm 長さ5.0m	m	45.00
結束材料	鉄丸くぎ、垂鉛めっき鉄線 しゅうなわ、杉皮等	式	1.00

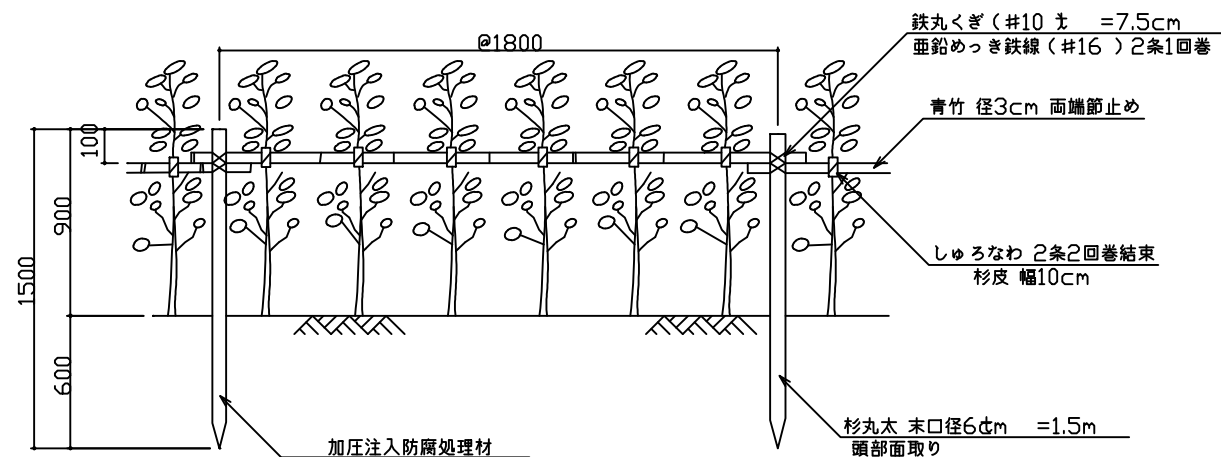
- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
 2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
 3. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
 4. しゅうなわの最後の結び方は、男結びとする。
 5. 竹は、先端部節止めとする。
 6. 竹の重ね継手の長さは、20cm以上重ね合わせ、その継手位置は杉丸太部分とする。

種 別	樹木養生工
図 面 名	生 垣 （ A ）
大 阪 市 建 設 局	

布掛支柱（ A ）標準図



布掛支柱（ B ）標準図

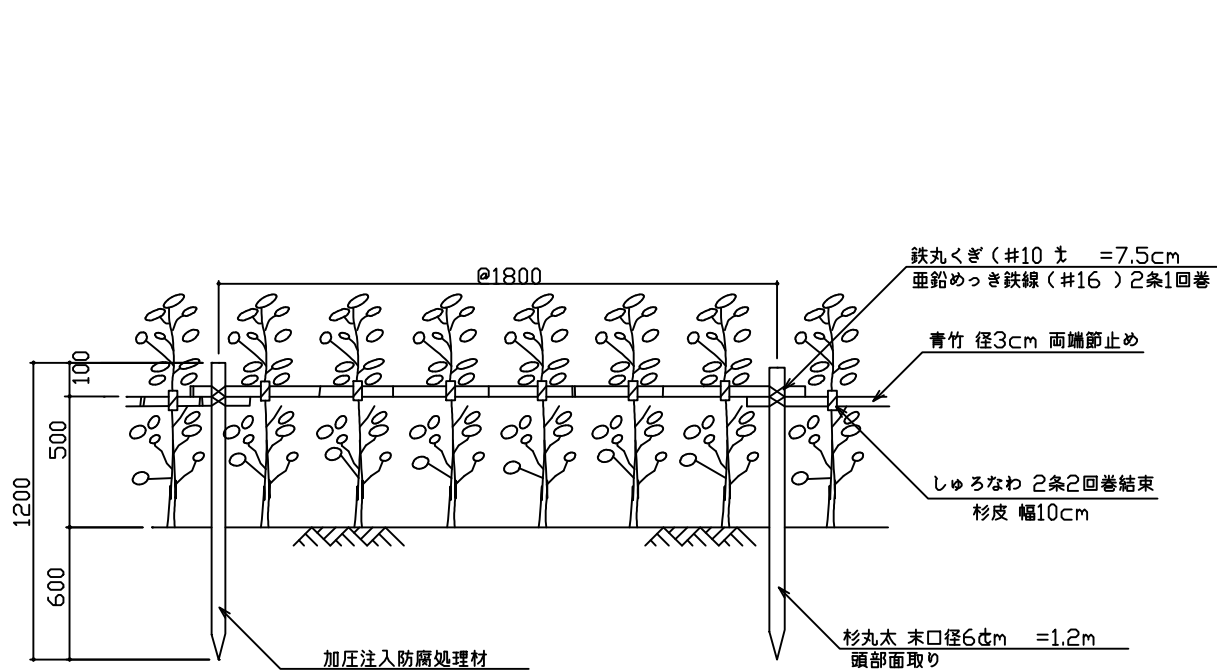


布掛支柱（ A ）,（ B ） 材料表		18m 当り		
名 称	形 状 寸 法	単 位	（ A ）	（ B ）
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.8m	本	10.00	—
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.5m	本	—	10.00
青 竹	平均3.0cm 長さ5.0m	m	18.00	18.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しよろなわ、杉皮等	式	1.00	1.00

注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
4. しよろなわの最後の結び方は、男結びとする。
5. 竹は、先端部節止めとする。
6. 竹の重ね継手の長さは、20cm以上重ね合わせ、
その継手位置は杉丸太部分とする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	布 掛 支 柱（ A ） 布 掛 支 柱（ B ）
大 阪 市 建 設 局	

布掛支柱（ C ）標準図

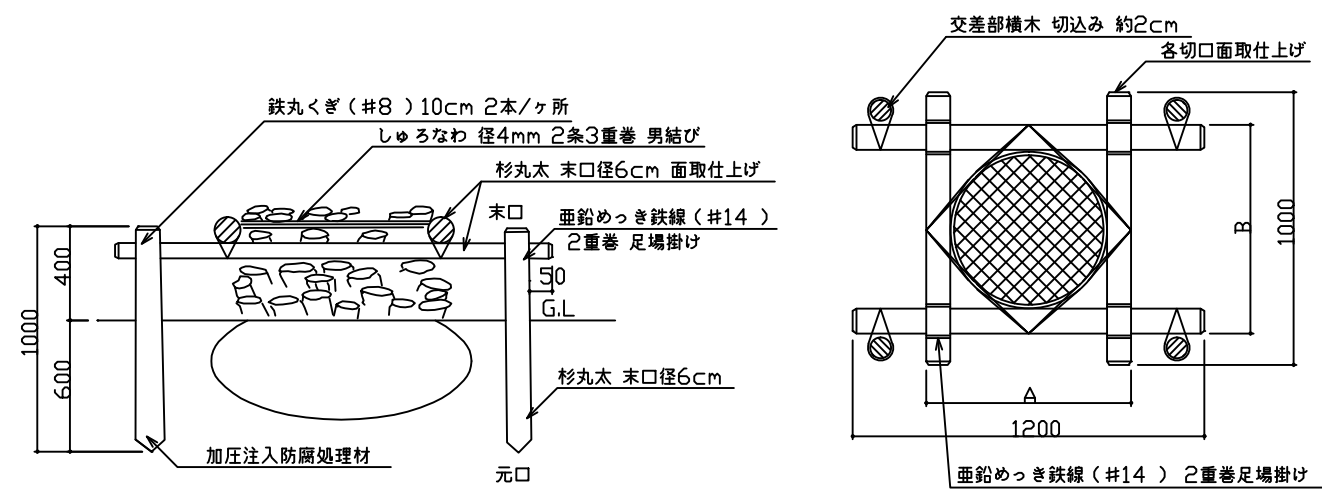


布掛支柱（ C ） 材料表		18m 当り	
名 称	形 状 寸 法	単 位	（ C ）
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.2m	本	10.00
青 竹	平均3.0cm 長さ5.0m	m	18.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しよろなわ、杉皮等	式	1.00

注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
3. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
4. しよろなわの最後の結び方は、男結びとする。
5. 竹は、先端部節止めとする。
6. 竹の重ね継手の長さは、20cm以上重ね合わせ、
その継手位置は杉丸太部分とする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	布 掛 支 柱（ C ）
大 阪 市 建 設 局	

フェニックス用支柱標準図



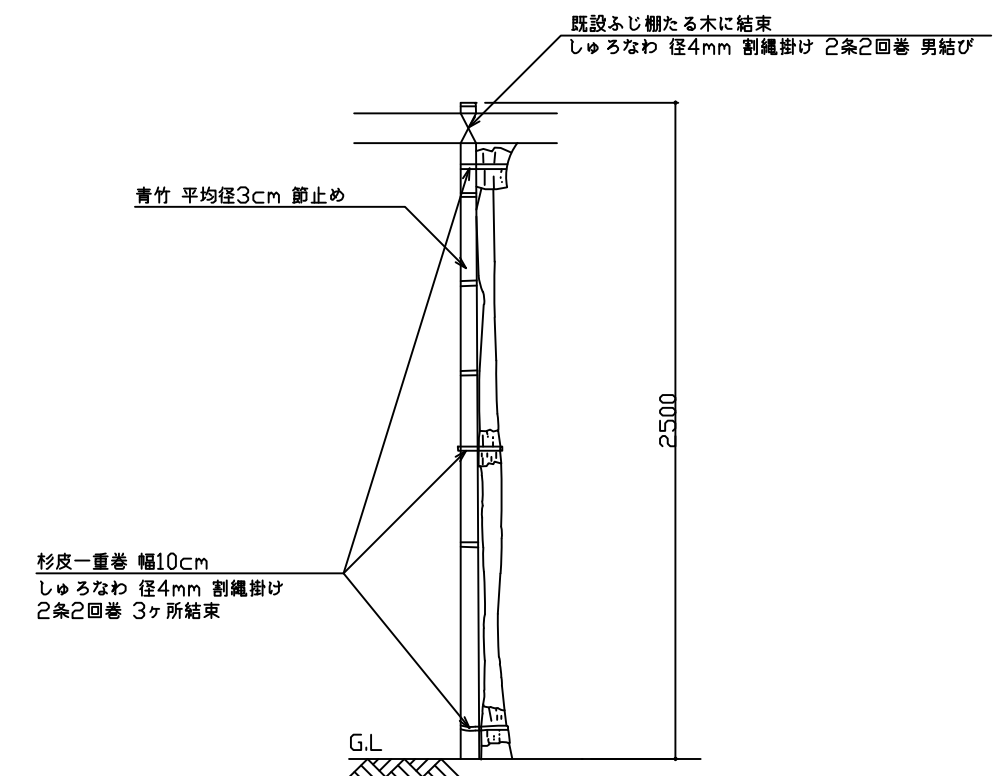
フェニックス支柱材料表 100本 当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.2m	本	200.00
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.0m	本	400.00
杉丸太	末口径6.0cm 長さ1.0m	本	200.00
結束材料	鉄丸くぎ、亜鉛めっき鉄線 しゅろなわ、杉皮等	式	1.00

- 注 1. 杉丸太は加圧注入防腐処理材とする。
 2. 丸太の切口見え掛り部分は面取り仕上げを行う。
 3. 横取付け丸太は、切込みを施すこと。
 4. 丸太は元口部分を地中に打ち込むこと。
 5. しゅろなわの最後の結び方は、男結びとする。
 6. A及びBの寸法は、フェニックスのバルブ径の大きさにより異なるため、本市監督職員の指示とする。

種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	フェニックス用支柱
大 阪 市 建 設 局	

ふじ用添竹標準図



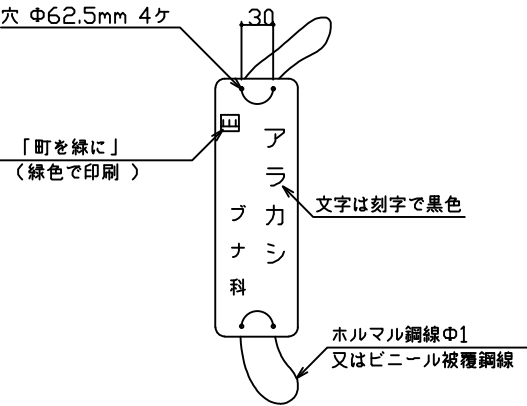
ふじ用添竹 材料表 100本 当り

名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量
青 竹	平均径3.0cm 長さ2.5m	m	250.00
結束材料	しゅろなわ、杉皮等	式	1.00

注 竹は、両端節止めとする。

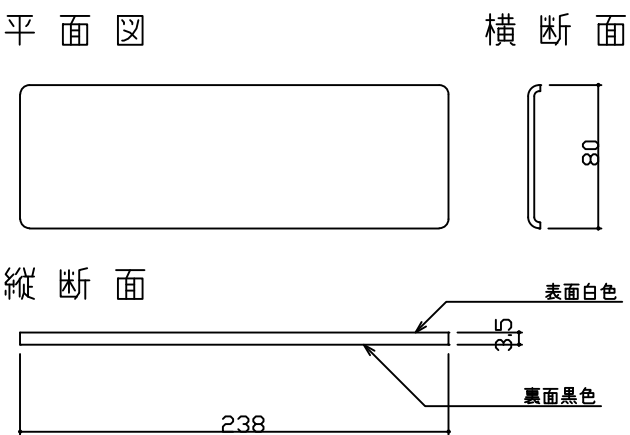
種 別	樹 木 養 生 工
図 面 名	ふ じ 用 添 竹
大 阪 市 建 設 局	

幹巻型樹名板詳細図



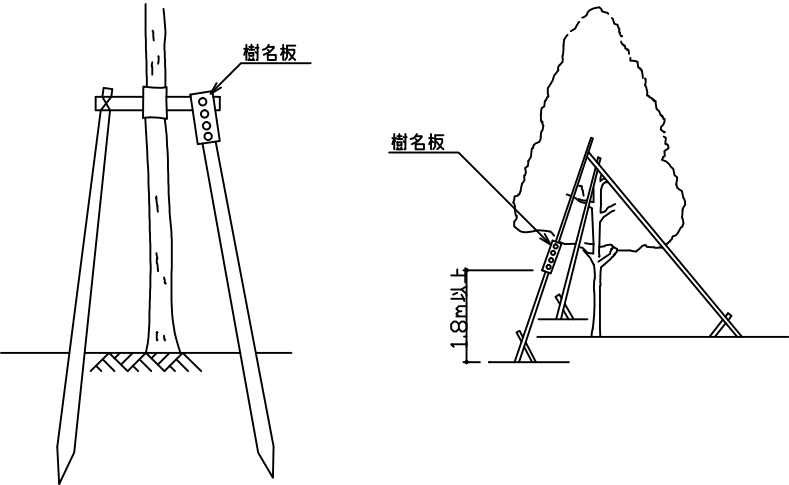
但し、支柱への取付は、ステンレス釘（径2.1mm長38mm）にて4本止めとし、標準取付け位置は、下図参照のこと。

樹名板構造図



ポリエチレン主原料
2色1体同時成型品
文字は刻字で裏面黒色が出る様

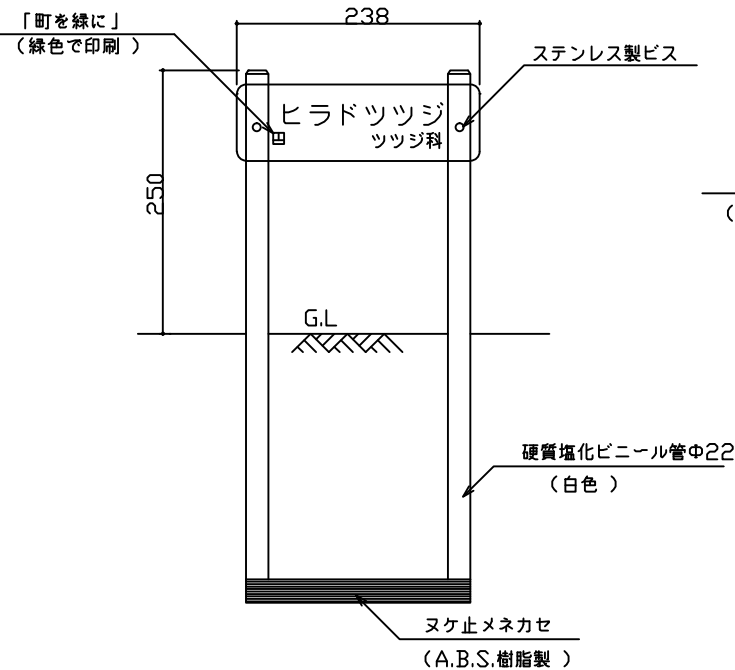
支柱への樹名板取付け例



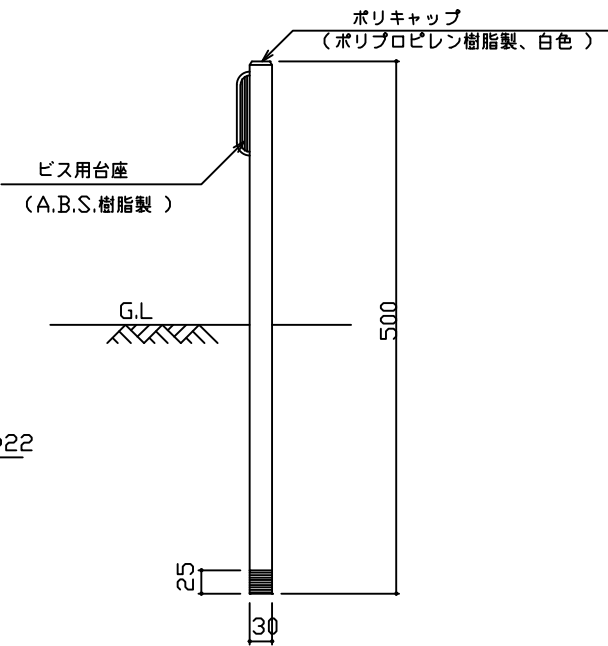
注 標準取付け位置
1. 鳥居型支柱は、正面より見て右側支柱の最上部とする。
2. 三、四本支柱は、地上より1.8mの高さに取付ける。

種 別	樹 名 板 工
図 面 名	幹 巻 型 樹 名 板
大 阪 市 建 設 局	

埋込型樹名板詳細図



側 面 図



種 別	樹 名 板 工
図 面 名	埋 込 型 樹 名 板
大 阪 市 建 設 局	